



# 学校だより

2025年3月10日  
藤沢市立御所見中学校  
校長 山田 大

新年度への飛躍に向けて、自分の可能性に蓋（フタ）をしないで

～世界一飛び上がる動物は？ビンに入れるとどうなる？「だ」「で」「ど」～  
今年度もあと残すところ1ヶ月を切りました。3月は新たな年度に向けて、1、2年生は、一年を振り返ったり、抱負や目標をイメージして飛躍する、3年生は卒業を控え、御所見中学校を巣立っていく準備期間と言えます。

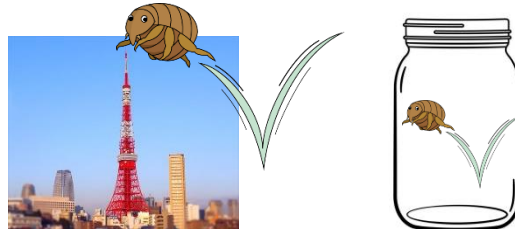
ところで、飛躍と関連して、自分の体長の何倍の高さを跳べるか、という基準で「世界一飛び上がる動物」は何か知っていますか？第1位は「ノミ（イヌノミ）」で、その跳躍は高さ30cmに達し、体長比で換算すれば約220倍になります。もしノミが人間と同じ身長なら約370mの高さまで到達し、東京タワー（333m）を超えることさえ可能です。ちなみに、第2位は南米を主な生息地としているアマガエルの一種で、自身の体長の150倍もの跳躍が可能と言われています。

では、ノミを高さ20cmほどのビンに入れ、フタをするとどうなると思いますか？ノミは最初、天井を破ろうと努力をして何度も飛び跳ねます。しかし、何度挑戦しても20cmしか跳べないと、自分の限界に気づきノミは20cmしか跳ばなくなるそうです。そして、恐ろしいことに、そのノミはフタをどけて高く跳べる状態にしても、それ以降は20cmしか跳べなくなるそうです。**※この実験の真偽は不明、例え話として理解してください**

皆さんは自分からビンに入ってしまったいませんか？今年度1年間でチャレンジせずに、諦めてしまったことはないですか？自分の可能性にフタをしていませんか？「だって」「でも」「どうせ」という言葉をよく使っていませんか？

出来ないと思い込んでいるだけかもしれません。失敗を避けているのかもしれませんが。同じ「だ」「で」「ど」で始まる言葉を「だって→だいじょうぶ」「でも→できる」「どうせ→どうにかなる」に変換して、見えないフタ、見えない壁を突き破り、自分の限界を乗り越えてみませんか？

「人生は思い通りにはならない。行動した通りになる」という言葉があります。あなたはどのように行動しますか？



## 選手・チームにフタをしていた「しくじり先生」

私はかつてサッカー部の顧問をしていました。つぎの中学校に移る直前に湘南ブロックの新人戦で優勝できました。後任の顧問は指導経験がなく、私がいなくなったら、勝てなくなるのかな？なんて勝手に思っていました。

ところが新年度になってそのチームは夏の藤沢市、湘南ブロック、県大会を勝ち上がり、なんと関東大会3位、全国大会でベスト8に進出する大活躍を見せました。試合を重ねるにつれて成長する選手・チームの姿を目の当たりにして衝撃を受けました。選手たちが発憤し、顧問を頼らず自立した姿がそこにあり、活躍する選手・チームを誇らしく思いました。

私が顧問を続けていたら、これまでの経験や「県大会ベスト8がいいところだろう」という思い込みが邪魔をして、きっと全国大会には出ていなかったでしょう。私がいかに選手・チームのフタになっていたかということを感じました。先生が勝手に生徒の限界を決めてはいけませんね。そのことは今も後悔しています。完全に「しくじり」しましたね。

集会で「先生の言うことばかり聞いていたらダメだよ」と言ったのはこの経験からです。



## 地域に支えられて

～卒業生激励会の家族のような温かさ、長年続く理由～

2月25日(火)御所見市民センターで「卒業生激励会」が行われました。この行事は御所見地区青少年育成協力会(青少協)が主催するもので、何十年も前から伝統的に続いているものです。運営を担当した保護者の方も在学中の激励会を覚えているとおっしゃっていました。



内容は東京2020オリンピックビーチバレー代表の村上めぐみさんによる講演「本気の自分」、PTA3年学年委員の皆様が作成したメッセージビデオ、御所見地域合唱サークルの合唱、フリースタイルフットボーラーAma&KousukeのAmaさんによるパフォーマンスなど盛りだくさんでした。

温かで飾らない、青少協会長 鈴野 達也様、来賓の藤沢市長 鈴木恒夫様、御所見地区社会福祉協議会長 森 正治様のあいさつからスタートして、皆様の挨拶の温かさそのままに、終始アットホームな雰囲気です。会が進行していきました。

村上めぐみさんによる講演「本気の自分」では、「諦めずにやりきる」と決心したことで自分に打ち勝ち困難を乗り越えられた、今までの自分の思い込みから脱して、対話をするところからオリンピックで戦えるチームに成長できたことなどの経験が語られ、卒業生のこれからの人生の糧となるお話しでした。



PTA3年学年委員の皆様が作成したメッセージビデオは約42分の大作で、入学から現在までの行事を中心に豊富な写真が臨場感あふれる音楽に乗せて、プロ並みの編集効果を加えてスクリーンに映し出されました。入学式の映像では、今とはまるでちがう幼い顔にどよめきや歓声が上がっていました。体育祭に合唱コンクール、ハケ岳に修学旅行、文化祭ステージ発表「シン文化祭」も大いに盛り上がっていました。映像の完成度の高さもさることながら、この作品を創りあげるための準備・編集には膨大な時間を費やしたことが想像できます。それはひとえに愛情のなせる業(わざ)だと感じました。だからこそ3年生は身を乗り出して映像に釘付けになり、最後には感動の拍手が自然と沸き起こりました。小学校6年時の担任の先生や他の中学に異動した先生が登場する演出にも保護者の方の気遣いが感じられます。

御所見地域合唱サークルは昨年5月に御所見小学校のコミュニティースクールから立ち上がったものです。御所見小学校の加瀬校長や猪俣教頭に地域の方々が参加して、当日は20名程度のメンバーが「奏(かなで)」「手紙～拝啓十五の君へ～」の2曲を歌ってくださいました。男声は4人しかいないにもかかわらず女声に負けないよう、一生懸命に歌う姿に引き込まれ、いつしか合唱の技量や完成度を超えた、心に訴えかけるハーモニーで会場を包んでいました。ここでも感動と勇気と愛情をたっぷり届けてくださいました。

フリースタイルフットボーラーAma&KosukeのAmaさんは、世界大会で活躍するテクニックと観客を魅了する演技構成で楽しませてくれました。途中、3年生が技を体験するコーナーもあり多に盛り上がりました。



約2時間半の内容でしたが、楽しくてあっという間に時間が過ぎたという実感でした。

最後に今回の「卒業生激励会」の準備を中心に進めていただいた久宗 司 様の挨拶で締めくくりましたが、ここでも卒業生の皆さんに対する深い愛情を感じました。いつも3年生から感じる、優しく、素直で純粋なイメージを久宗様からも感じられました。



このような人柄の皆様をいっぱい注がれて育ってきたから、3年生の皆さんの人柄も温かいのだと気づかされました。正直、実際参加するまでは「どうしてこんなに一生懸命準備するのだろう」「なぜここまで続けてきたのだろう」と疑問を持っていましたが、その理由がはっきりと理解できました。これまでの準備、当日の運営に感謝するとともに、いつまでも「卒業生激励会」が続くことを願います。3年生は何を思い卒業しますか？



## 卒業生を綺麗になった庭園がお出迎え



～記念撮影スポットにぜひ！御中自慢の庭園を清掃～

3月1日（土）にPTA本部の皆様6名と教職員10名で正門の正面にある「庭園」の清掃を行いました。この庭園は現在の校舎が完成した記念に、総額約300万円をかけて1972年（昭和47年）に造られたものです。

造園業者の方にもお手伝いいただき、朝9時から作業開始となりました。水の張っていない池の底や石畳の上には大量の落ち葉が積もり、雑草が生え、樹木の枝ものび放題でした。熊手やホウキで落ち葉を集め、石畳の間の落ち葉は手で拾い、雑草を抜き、樹木を丸くトリミングしました。

約1時間の作業で見違えるように綺麗になり、集めた落ち葉や枝は、軽トラックに山盛り一杯になりました。写真ではよく伝わりませんが、実際に作業してビフォー・アフターの違いに満足しています。庭園の仕上がり同様に作業した我々の心もスッキリしました。

これで気持ちよく卒業式を迎えられます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。3年生の皆さん、卒業式の後にはぜひ、庭園をバックに記念写真を撮影してください！



## 大学生から学ぶ新たな交流

～慶応湘南藤沢キャンパスのアカペラサークル「K. O. E」コンサート～

3月6日（木）の5、6時間目に慶応湘南藤沢キャンパスのアカペラサークル「K. O. E」の皆さんをお招きして、1、2年生が体育館でコンサートを鑑賞しました。

生徒会本部が運営を担当し、2月6日（木）には大学生の運営スタッフと御所見中学校で打ち合わせを行い、演目や司会進行など当日の内容を話し合い、企画を練りました。

当日は機材トラブルで10分程度開演がおくれるアクシデントもありましたが、スタートから2年生男子の盛り上がり素晴らしく、メンバーの皆さんは、次々にマイクを通した声だけで、パーカッション、ベース、コーラス、リードが織りなす素晴らしいアカペラコーラスを披露してくれました。

途中、パーカッションとベースの声だけで曲名を当てるクイズや、大学生のコーラス・伴奏をバックにリードを中学生が担当するコーナーもあり、趣向を凝らした構成になっていました。中でも、「シン文化祭」にも出演した「サザエさんダンサーズ？」と大学生のコラボは、大学生も一緒に踊り、BGMはアカペラで大変盛り上がりしました。

この企画は昨年9月14日（土）に宇都母知神社の宵宮祭に吹奏楽部の有志が参加したことがきっかけでした。そこに出演していた「K. O. E」を見た校長が興味を持ち、9月23日（月）に湘南台市民シアターで行われたコンサートを見に行き、一つのことを協力して創りあげるその情熱とクリエイティブな活動に感動して出演を依頼しました。

出演を依頼した目的としては、純粹にアカペラを楽しんでもらいたいということが一番ですが、大学生との交流を通して何かを感じる、学ぶ、将来を思い描く、といった面もあります。ですから、ただ鑑賞するだけではなく、生徒会が司会進行を担当し、中学生と共演してもらいました。慶応湘南藤沢キャンパスとは直線距離で2km弱、歩いて35分とご近所なのに、今までほとんど交流がありませんでした。この交流を今後も続けていきたいと思っています。コンサートの鑑賞だけでなく、御所見中学校で大学生活について教えてもらったり、逆に中学生が大学生活を見学したり、文化祭やお楽しみ会に出演してもらったり、お祭りのボランティアを一緒に行ったり…。

※夏に行われたK. O. Eのコンサートは

インターネットで「K.O.E Summer Concert 2024 "RECORIS"」で検索するか

<https://youtu.be/7wUk4wwcWhQ> で視聴することができます。



**【防災教育（2年生） 2月14日（金）】**



**【進路保護者説明会 2月26日（水）】**



**【校内研究授業 2月27日（木）】**

**【庭園清掃 3月1日（土）】**



**【K. O. Eアカペラコンサート 3月6日（木）】**



**【小中交流会 3月7日（金）】**



3年生とその保護者の皆様へは、今回が最終号となります。卒業式での立派な姿と卒業後の活躍を楽しみにしております。1年間本当にありがとうございました。